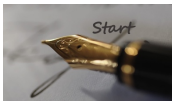
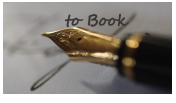
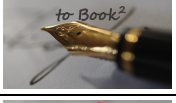
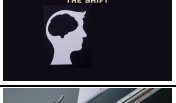
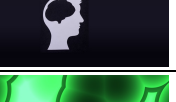
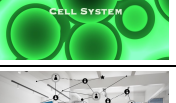


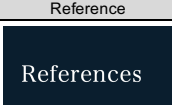
#	News	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		NS211024 ブログ開始	ブログサイト開始	ブログを始めたよというアナウンス。作成環境、運営方法などについて	2021-10-24	2
2		NS211029 ブログ書籍	ブログから書籍へ	ブログ項目を時系列データベースとして、各方面・各時点のメッセージとしての書籍化を図る	2021-10-29	3
3		NS211109Ref	参考文献・書籍まとめ	参考文献・書籍の採り上げ方、カテゴリー分け、参照方法について	2021-11-09	2
4		NS211121 ブログ状況：初段	ブログ状況：初段	2021年11月21日時点のブログ作品の状況を整理し、振り返り（KPT）を行った	2021-11-21	2
5		NS211127 ブログ書籍 2	ブログから書籍へ その 2	ブログから書籍編集を目論んで、新たなカテゴリー（Genealogy）を追加し、それぞれのカテゴリーの書籍化への役割を明確	2021-11-27	3
6		NS220105賀正	謹賀新年2022	明けまして、おめでとうございます。	2022-01-05	2
7		NS220204中盤	ブログ状況：中盤	ブログを開始してから、3ヶ月が経ちました。とりあえずの目標件数は101件で、現在75件、もう一息といったところでしょ。	2022-02-04	2
8		NS220325NewTopics	新たなトピックス	当初の目次構成から進展しそうなトピックスができました。「社会学」および「学習機械」に関するものです。現状での認識を簡単に解説しておきます。	2022-03-25	5
9		NS2203419Chidouka	知働化研究会2022年度突入	この「缶詰会」は、アジャイルプロセス協議会の知働化研究会の活動の一環として推進しています。2022年度も今までと同様に継続していくことにしています。	2022-04-19	3
10		NS22035012NewIndex	書籍構成の再考	缶詰会の合宿があるので、書籍構成の実現可能性を考慮しつつ、再考してみることにしました。	2020-05-12	6
#	ThinkMethod	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		TM211024A技法世界	『思考の技法』の世界観	人工物（デザイン対象）とは何か？実行や計算とは何か？観測と制御という図式。そして、公理系による世界観を語るることについて	2021-10-24	4
2		TM211024B技法全体像	『思考の技法』探求：全体像	思考の技法の守備範囲について、この10年を振り返る。個・群・哲学・実践という軸、時間軸で整理。そして、そろそろ冊子の刷新を図りたいという宣言。	2021-10-24	3
3		TM211024C技法個	『思考の技法』探求：個の論点	イノベーションの起点となる個人の想い、そして、語り得ないセマンティクスを個人の中に位置づける目的が唯一無二で、これを語ることの重要性	2021-10-24	3
4		TM211024D技法群	『思考の技法』探求：群の論点	アジャイルのビジネス&開発プロセスの連動、ΛVモデル、コミュニケーションによる学習成長のプロセス、セル、法、そして、超マシン。メタウェアからアーキテクチャ（制度設計）へ。	2021-10-24	5
5		TM211024E技法哲学	『思考の技法』探求：その哲学	言語ゲーム、意味論的転回、人間化、システム論、そして、新実在論へという流れ 社会に溶け込むシステムという意味で、民主主義や全体主義の危機について言及	2021-10-24	4
6		TM211024F技法実践	『思考の技法』探求：その実践	ピーターの法則、1万時間の法則、40歳定年説、多様性の要求、解る人には解るが解らない人には解らない問題	2021-10-24	4
7		TM211031Vergandy	ベルガンディの技法との比較	デザイン・ドリブン・イノベーションの方法との比較	2021-10-31	5

8		TM211107Penrose	ペンローズの世界観	精神世界、物理世界、プラトン（数学）世界 デザイン世界、システム世界、ソフトウェア世界 のトライアングルアプローチ	2021-11-07	4
9		TM211114OpDialogue	オープンダイアログ	ミーティングの新しい形：知のフリマからオープン ダイアログ、未来への質問の実践方法	2021-11-14	4
10		TM211122AHumanRs	人財の二極化	P-Secでの人財の二極化、創造的カテゴリと技能的カ テゴリの概念提示	2021-11-22	4
11		TM211122BTMHumanRs	アーキテクトに要請される能力	アーキテクト、アントレプレナー、エンジニア、プ ロジェクトマネージャの配置と、アーキテクトに必 要な能力	2021-11-22	3
12		TM211129思考	『思考の技法』における思考	『思考の技法』における思考は、理論・科学と、実 践・工学とのサイクル活動（thinking）	2021-11-29	3
13		TM211206複雑性	複雑性の諸概念と対処	ソフトウェアやシステムの本質の一つは、複雑性で す。複雑性には多くの種類があり、『思考の技法』 でも対処の仕方が多様です。	2021-12-06	7
14		TM211215組織化	組織化の原理	社会の構成要素はコミュニケーションです。従来の 階層型組織は原理的に無能化していきます。ダイナ ミックで柔軟な構造を目指していかなくてはなりま せん。	2021-12-15	4
15		TM211221目的	目的の表明	目的、目標、ビジョン、ミッション、バリューなど の概念整理と思考の技法での役割	2021-12-21	3
16		TM211224Shift	変わりつつあるパラダイム	ソフトウェア、システムの世界で変わりつつある胎 動のようなもの	2021-12-24	5
17		TM220110Principle	『思考の技法』の原理	『思考の技法』を支えている理論は、個人、組織 （企業体）、社会・経済、コンピュータ・テクノロ ジーに渡る広範な領域を総合的に扱うシンプルな定 式化	2022-01-10	6
18		TM220115思考2	『思考の技法』の未解決問題	『思考の技法』検討していくにあたって、いくつか の未解決問題を2019年2月にまとめ、状況を再確認	2022-01-15	4
19		TM220329Domain	ドメイン指向	ソフトウェア領域だけではなく、デザインやシステ ムの領域でもドメイン指向の考え方が浸透してく ています。	2022-03-29	4
20		TM220409Paradigm	新たなパラダイム論	ソフトウェアに関するパラダイム論には、多くの流 派がありますが、ここでは、筆者の経験と世界観や 問題意識に基づいたものを掲げておくことにしま す。特徴となるのはテクノロジーのみならず、ソシ オロジー（社会学）の視点を採り入れたことです。	2022-04-09	7
21		TM220508Paradigm2	新たなパラダイム論^2	ソフトウェアに関するパラダイム論については、以 前のブログ『新たなパラダイム論』(2022.4.9)にま とめました。その後、JEITA（電子情報技術産業協 会）の活動を振り返る機会があり、それと統合した 作品をまとめてみました。	2020-05-08	2
22		TM220522HyperMachine	超マシン	コンピュータ（マシン）、人（個人）、組織（集 団）などを実行可能な人工物とみなし、抽象化して 「超マシン」と呼ぶことにします。これは『セル組 織論』で言う「セル」の原型です。	2022-05-22	6
23		TM220524CellSystem	セル・システム	『セル組織論』で言う「セル」は、オートボイエ シス・システムです。常に代謝をし、成長していく 生命的なシステムです。ここでは、いくつかの形式 的なモデルを併用しながら、解説します。	2022-05-24	6
24		TM220711Gabriel	新実在論における他者性	『思考の技法』での個人と社会との関係を、より厳 密に扱う概念として ガブリエルの提唱している新実 在論の「他者性」が有効です。さらに、倫理資本主 義や道徳との接点も検討していけそうです。	2022-07-11	4

25		TM220727Integral	心理から組織への統合アプローチ	『思考の技法』の探求において、このところ人間の心理面から社会・組織面に至る広範な事項について考えをめぐらせています。多くの探求が同じようなところに落ち着きつつあるように感じています。	2022-07-27	4
26		TM220818Assessment	組織アセスメント	思考の技法/セル組織論の実践時には、現状の組織（企業）の状況を的確に把握する必要があります。ここでは、いくつかの観点で、組織の混沌とした状況から理想的な状況に至るレベルごとに、定義をしておきます。	2022-08-18	7
27		TM220825SelfAssess	組織セルフアセスメント	思考の技法/セル組織論の実践時には、現状の組織（企業）の状況を的確に把握する必要があります。いきなりアセスメントは難しいかもしれませんが、自己診断（セルフアセスメント）の方法を模索してみました。	2022-08-25	3
#	Community	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		CM211023缶詰会の様相	缶詰会の様相	缶詰会自体が知のコミュニケーションと交換を通じた価値創出であるということ	2021-10-23	4
2		CM211025A新ソフト原点	新ソフトウェア宣言：原点	ソフトウェアとは何か？ 基盤化、全体化、知働化、進化論、意匠論、経営論、遊戯論など	2021-10-25	7
3		CM211025B新ソフト続	新ソフトウェア宣言：続	新ソフトウェア宣言の洗練化	2021-10-25	6
4		CM211025C新アーキ宣言	新アーキテクチャ宣言	思考の技法を支える世界観	2021-10-25	8
5		CM211031A対談HgOt新ア宣言	〔対談Hg-Ot〕 新アーキテクチャ宣言の世界観	言語ゲームから新実在論へ、心の哲学（認識論）の整理	2021-10-31	5
6		CM211031B対談HgOtシ思考	〔対談Hg-Ot〕 システム思考の世界観	システム学の概要、複雑系の位置づけ、オートポイエーシスの紹介、そして、AIアプローチ（システム1・2・3）、SECIモデルと暗黙知など	2021-10-31	7
7		CM211101対談NgOt書籍	〔対談Ng-Ot〕 書籍のイノベーション	書籍の再定義に向けて：昭和の幻想という障壁。語り部の必要性。	2021-11-01	10
8		CM211103対談HmOtArchitect	〔対談Hm-Ot〕 ソフトウェア・アーキテクト	セル、ドメイン、中心、ビューポイント、目的と法の必要性、セマンティクスの重要性	2021-11-03	7
9		CM211112Democracy	テクノロジー進化と民主主義の危機	民主主義の危機、ITによる全体主義の台頭。公私領域の区別が破壊されていく。	2021-11-12	3
10		CM211209RealKanzume	缶詰会リアル会合の様相	2021年12月9日の夢科の山荘での懇談の様子	2021-12-09	3
11		CM211210対談OsOt新アーキ宣言	〔対談Os-Ot〕 前編 新アーキテクチャ宣言	新アーキテクチャ宣言の入門的なコメントのやりとり	2021-12-10	5
12		CM211211対談OsOt新アーキ宣言	〔対談Os-Ot〕 後編 新アーキテクチャ宣言	新アーキテクチャ宣言の入門的なコメントのやりとりの続き	2021-12-11	10
13		CM211214仏教の御利益	仏教の御利益	濱さんの仏教の考え方導入について	2021-12-14	3
14		CM211222人財エコ	〔対談Os-Ot〕人財エコシステム	本作品は、人財育成に関するOs氏とのメールでのやりとりを端を発して、人財のエコシステムという考え方に至った経緯をまとめたものです。	2021-12-22	6

15		CM211223ITCMF	IT-CMF	IT経営の評価手法IT-CMF（IT Capability Maturity Framework）が提唱されており、ビジネスの観点でITの価値を見定める指針とその改善策を提示	2021-12-23	4
16		CM220107A対談OsOtAgile	[対談Os-Ot] アジャイルプロセス	『対談 アジャイルプロセスの意味と社会的意義』を再録	2022-01-07	10
17		CM220108SoftEconomics	ソフトウェア経済学	2007年にEngineering Mind誌に特集された『ソフトウェア経済学』から導入部分を再録し、ソフトウェアと経済学との関係について	2022-01-08	17
18		CM220126リモートアジャイル	リモートワークの課題	物理的なソフトウェア開発環境も変化してきています。これを機にハイブリッド型アジャイル開発の利害得失を検討しておく	2022-01-26	3
19		CM220130SE4BS	SE4BSというコンセプト	SE4BSの概要をうかがい、『思考の技法』との比較をしてみました。また、SEC再考もちょっとだけ。	2022-01-30	12
20		CM220313Kanzume	缶詰会＝社会システム	「缶詰会」は、コミュニティ型の社会システムであり、目的（イノベーション）と組織化（アーキテクチャ）の視点で次世代の知の仕組みの萌芽と見なすことができます。	2022-03-13	4
21		CM220611Discussion	作品間の関連について	缶詰会で検討しているコアな作品間の関係性や全体感について議論しました。議事録・備忘録の形で掲載しておきます。	2022-06-11	4
22		CM220625PsychoAnalysis	心理 語りえぬもの	思考の技法の起点は、個人の想いですが、あえて、「想い」という心理領域については、扱わないようにしていました。しかし、精神分析などの実践領域の知見が有用であることは間違いないので、専門家に意見をうかがってみることにしました。	2022-06-25	4
#	Dictionary	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		DC211025A表現意味	表現と意味	個人の想いとして語り得ない世界が意味領域 意味から表現が生成され、表現を解釈して意味領域に落とし込む	2021-10-25	2
2		DC211025Bコミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーションとは、表現の交換を通じて、お互いの意味・認識を修正していく活動である	2021-10-25	2
3		DC211026AManagement	マネジメント	マネジメント＝マーケティング＋イノベーション	2021-10-26	2
4		DC211026BSystem	システム	システムの素朴な定義と、システム学の方角性	2021-10-26	2
5		DC211030Metaware	メタウェア	メタ＝高階 という定義の紹介	2021-10-30	2
6		DC211102OpenSys	システム：オープン/クローズ・自律/他律	オープン（開放）、クローズ（閉鎖）システムの本当の意味と、作動ルールがどこから来るか（自律・他律）の問題について	2021-10-20	3
7		DC211103AInnovation	イノベーション	イノベーションとは？ について	2021-11-03	2
8		DC211103BArchtec	アーキテクチャ	アーキテクチャとは？ について	2021-11-03	2
9		DC211113ASemTurn	意味論的転回	クリップENDORFの提示、人工物の意義。	2021-11-13	5

10		DC211113BIndividual	個と同一性	メタバースの話をきっかけに、個人、自我、ドメインなどの同定について	2021-11-13	3
11		DC211122Abstraction	抽象化	抽象化の基本外燃、Krammerの発達心理学からの考察など	2021-11-22	3
12		DC211128Model	モデル	モデルには、《理想モデル》《類推モデル》《分析モデル》がある	2021-11-28	4
13		DC211129AModule	モジュール	バルナスモジュールと、産業アーキテクチャモジュールについて	2021-11-29	2
14		DC211129BPragmatism	プラグマティズム	プラグマティズム（実用主義）の考えは、言語ゲームと通じるものがあり、格率の表現を紹介	2021-11-29	2
15		DC2111230LangGame	言語ゲーム	言葉の意味は、用法で決まるということ	2021-11-30	2
16		DC211212Design	デザイン	デザイン、設計、designという言葉の状況	2021-12-12	2
17		DC211215Forecast	予測	見積り（estimation）や予測（forecast）は、データに基づく科学的なアプローチがあるが、限界もある。	2021-12-15	3
18		DC211216Paradigm	パラダイム	パラダイムシフトとは法則・枠組み・規範・世界観が変わること	2021-12-16	2
19		DC211217LifeEvo	生命と進化	人も組織も、そして、システムも生命的であり、常に進化していくことが要請される	2021-12-17	4
20		DC211218TuringMachine	チューリングマシン	計算の基本原理は、チューリングマシン	2021-12-18	1
21		DC211219NeumannMachine	ノイマンマシン	自己複製マシンのアイディア	2021-12-19	2
22		DC220807Dignity	成長の本質：解像度・真摯さ・尊厳	成人成長理論において成長していく時の本質的な人間性はこういったところに現れるのでしょうか？	2022-08-07	3
#	Genealogy	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		GL211124Legealogy	思考の技法の基盤理論	ソフトウェア学、システム学、および、デザイン学を基盤にしていること、系譜という視座の必要性について	2021-11-24	4
2		GL211126Prgramming	プログラミング言語の系譜	EMZEROに掲載した作品の棚卸し	2021-11-26	4
3		GL211202Phylosophy	哲学の系譜	デカルト以降の近代哲学の潮流について、流れを解説し、思考の技法を支える思想の方向性：言語ゲームと認識（心）の哲学のまとめ	2021-12-02	3
4		GL211205System	システム学の系譜	システム学（システム科学、工学、思考）は、生物学者のベルタランフィに始まり、システム工学知識体系（SEBoK）としてまとめられる	2021-12-05	3

5		GL211213Design	デザイン学の系譜	デザイン学の大局的潮流と、原理（JEITA講演）の解説	2021-12-13	5
6		GL211219Machine	計算理論の系譜	ゲーデル、チューリング、ノイマンと計算の理論が確立され、進化の定式化に至る系譜	2021-12-19	3
#	Books	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		BK20220106Drucker	Peter F. Drucker	ドラッカーの著作経緯と読書案内	2022-01-06	4
2		BK20220112Gabriel	Markus Gabriel	新実在論・新実存主義の提唱者のガブリエルは、ドイツ哲学を源流とした実践的アプローチ、民主主義、全体主義などのガイドも記載	2022-01-12	3
3		BK20220117Wittgenstein	Ludwig Wittgenstein	『論理哲学論考』『哲学探究』という偉大な足跡と、その後の多大な影響を及ぼしたウィットゲンシュタイン。『思考の技法』では「言語ゲーム」の思想を中心	2022-01-17	3
4		BK20220304Limitation	理性・知性・感性の限界	高橋昌一郎著の3部作：理性・知性・感性の限界は、哲学全体の入門的な読み物として魅力的な著作です。『思考の技法』に関連したテーマも多く扱っています。	2022-03-04	2
#	Introduction	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		ID220123目的	目的策定＝存在意義のデザイン	プロダクトやサービスのみならず、個人や組織活動も正しい目的を設定することによって継続的変革・進化・成長していくことができます。	2022-01-23	7
2		ID220213XSoft	X = ソフトウェア化	デジタルトランスフォーメーションに代表される変革の本質は、ソフトウェア化に尽きます。今までの常識とされてきた思考をことごとく覆していかなくてはなりません。	2022-02-13	8
3		ID220223話法	東大話法というハラスメント	コミュニケーションは社会を構成する基本要素ですが、世の中には欺瞞に満ちた(deceptional)発言が散見され、気がつかないうちに全体を誤った方向に導いてしまうことがあります。	2022-02-23	4
4		ID220606NCIS	自律的チームの様相	セル組織論の実践的諸概念を示す好例として20年近く続いている米国のドラマのNCISネイビー犯罪捜査班があります。全てのメンバーがそれぞれの能力を発揮し、行動規範(ルール)も設定されていて、とても参考になります。	2022-06-06	8
5		ID220613Competency	個人の能力と成長	個人の業務上の能力向上は、成人成長理論として知られていますが、どのような職種・役割でもそれが適用できるかどうかは、よく検討してみる必要があります。	2022-06-13	6
6		ID220803CellFAQ	セル組織論FAQ	セル組織論に関する啓蒙活動の中で、多くの抵抗、理解困難、疑問などに会います。ここでは、FAQとして初歩的な疑問にお応えしてみることになりました。	2022-08-03	9
7		ID220816MngTrend	マネジメントの潮流	思考の技法やセル組織手法が、現代的な経営論の観点からどのように解釈できるかについて、検討してみました。	2022-08-16	4
8		ID220919CellX	セル化の組織変革	考の技法/セル組織手法を導入していく場合に、問題となるのは既存の組織運営の方法からどのように変革・移行していくかということです。ここでは、そのためのアプローチについて考察してみることにします。	2022-09-19	6
9		ID221001PurposeThinking	セル組織における目的思考	思考の技法 / セル組織の中心概念は「目的(purpose)」です。このことをなかなか理解できない人がいることも事実ですので、その理由を考察し、正しい目的を策定する方法(方便)を検討してみました。	2022-10-01	13
#	Reference	ファイル名	タイトル	一口説明	作成日	ページ数
1		RF211114	参考文献リスト	今までの書籍執筆、論文の参考資料の整理(カテゴリ分け)	2021-11-14	26